



OPROARTS Connector for kintone ユーザーガイド (PDF/ヘッダー明細)

Ver.1.2

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/06/03	新規作成
1.1	2020/05/25	6. 出力ボタンの作成にリストページからの出力方法を追記
1.2	2021/12/02	3.4 その他のコンポーネント を追加 ラベルの「動的」にチェックを入れる操作について強調するよう編集

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for kintone をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っている便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	6
3. テンプレートのデザイン	7
3.1 テンプレートの新規作成	8
3.2 基本操作の紹介.....	10
3.3 実際に作る	12
3.4 その他のコンポーネント	15
4. 項目のマッピング	17
5. ドキュメント出力設定	21
6. 出力ボタンの作成	24
6.1 詳細ページから出力する場合	24
6.2 リストページから出力する場合	29
7. OPROARTS Connector のアンインストール	30

1. はじめに

ここでは Connector for kintone で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を2つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

御請求書

発行日: 2017/09/01
請求番号: 0001

日本オプロ株式会社 御中
東京都港区芝3-43-15
芝信三田ビル

デモ商事株式会社
〇〇県〇〇市
〇〇1-1-1 〇〇ビルズ
11-1111-1111 / 11-1111-1112

下記の通りご請求申し上げます。

ご請求額 ¥756,000

請求締日 20日
支払期限 2017/9/20

振込先 〇〇銀行 三田支店 123456

製品名	単価	数量	金額
商品1	100,000	1	100,000
商品2	300,000	1	300,000
商品3	100,000	1	100,000
商品4	100,000	1	100,000
商品5	100,000	1	100,000
商品6	100,000	1	100,000
商品7	100,000	1	100,000

合計 ¥700,000
消費税 ¥56,000
総合計(税込) ¥756,000

備考

1ページ

・非明細部

取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。ヘッダーやフッター

・明細部

商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。「繰り返し領域」ともいう。

kintone のアプリデータからこのヘッダー明細型帳票を作る場合、

非明細部: 起点となるアプリのレコード(単一レコード)項目

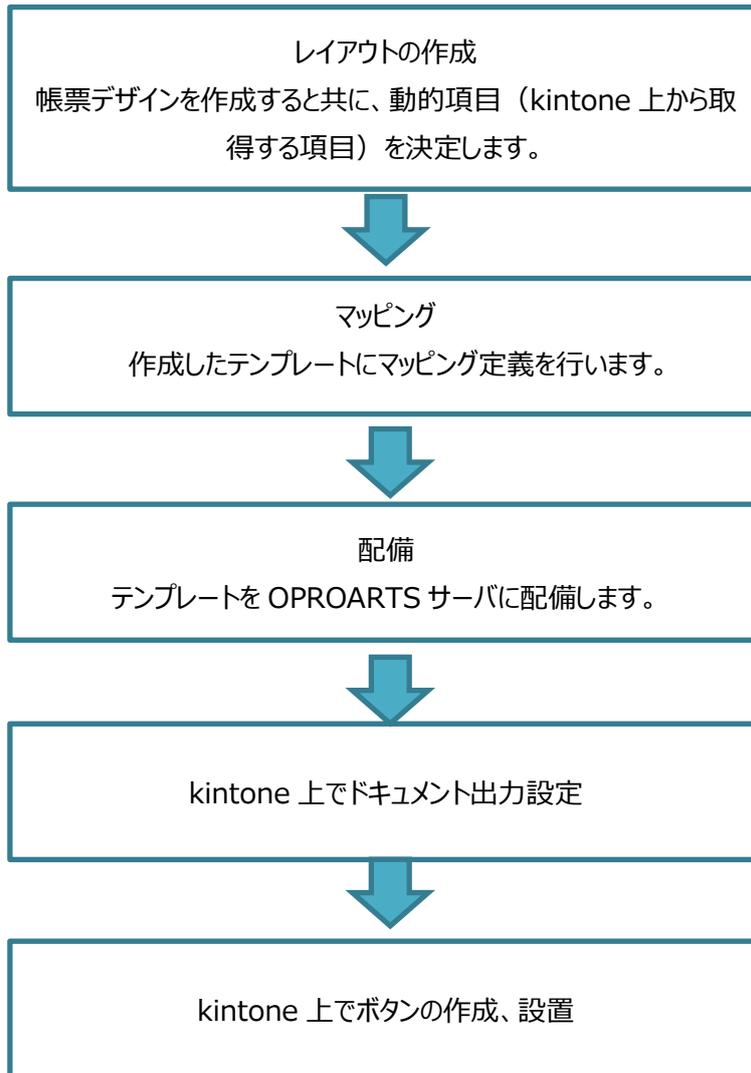
明細部: 起点となるアプリのテーブルレコード(複数レコード)項目

を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

注意 ゲストスペースでは使用できません。

2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

サンプル帳票	① 2019/06/03						
② サンプル取引先							
<table border="1"><thead><tr><th>商品名</th></tr></thead><tbody><tr><td>製品 1</td></tr><tr><td>製品 2</td></tr><tr><td>製品 3</td></tr><tr><td>製品 4</td></tr><tr><td>製品 5</td></tr></tbody></table>	商品名	製品 1	製品 2	製品 3	製品 4	製品 5	③
商品名							
製品 1							
製品 2							
製品 3							
製品 4							
製品 5							
備考							
④ サンプルテキスト							
	⑤						
	Page 1						

番号	内容
①	見積アプリの発行日項目
②	見積アプリの顧客名項目
③	見積アプリのテーブルの内容項目
④	見積アプリの備考項目
⑤	ページの番号

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。
任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※「見積アプリ」については[こちらの FAQ ページ](#)から「簡易見積アプリ」のテンプレートファイルをダウンロードし、そのファイルを読み込んでアプリを作成してください。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。
このマニュアルで使用しない各帳票コンポーネントは以下の章で紹介していますので、必要に応じてご参照ください。
[その他のコンポーネント](#)

3.1 テンプレートの新規作成

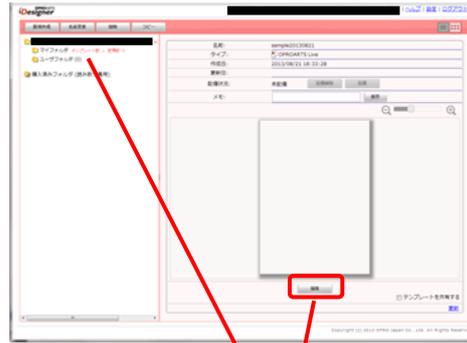
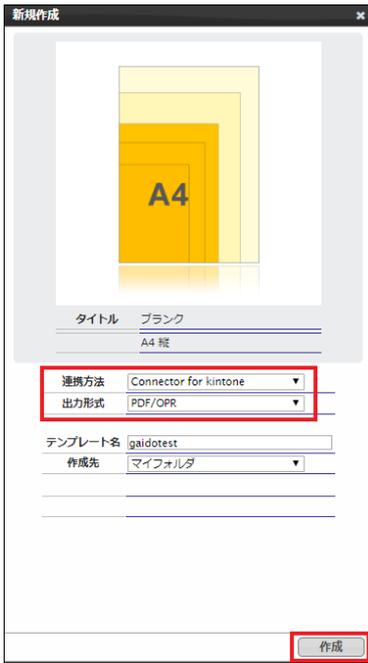
OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



ここでは、[ブランク] タブで A4 縦を選択します。
連携方法「Connector for kintone」、出力形式「PDF/OPR」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力し、[作成] をクリックしてください。

- 使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- 先頭の文字はアルファベットである
- 最後の文字がアンダースコアでない
- アンダーバーが 2 個以上連続していない



「マイフォルダ」以下のテンプレートをダブルクリックするか、[編集] をクリックして、デザイン画面を開きます。

3.2 基本操作の紹介

左上にあるコンポーネントのリストから配置したいコンポーネントを選択してからレイアウト上をクリックすることで選択したコンポーネントを配置できます。



また、画面左側に現れるプロパティを変更することで現在選択されているコンポーネントの詳細を設定できます。



その他に、知っておくと便利な基本のショートカットキーをご紹介します。

ショートカットキー	動作
[Ctrl] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントを 1px ずつ移動
[Ctrl] + [Shift] + [矢 印 (↑↓←→)]	コンポーネントをグリッドの間隔単位で移動
[Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントのサイズを変更
[Ctrl] + 選択	コンポーネントを複数選択する(※)
Ctrl+Z	取消
Ctrl+Y	やり直し
Ctrl+X	切り取り
Ctrl+C	コピー
Ctrl+V	貼り付け
Ctrl+A	全て選択(※)
Esc	選択解除
Delete	削除

(※)以下のコンポーネントを組み合わせ、同時に選択することはできません。

- ・他のコンポーネントを内包するコンポーネント
- ・他のコンポーネントに内包されたコンポーネント

3.3 実際に作る

ここでは、実際にテンプレートをデザインしながら Live の使い方を学んでいきます。

1. 罫線や枠線を引く

Line コンポーネントや Rectangle コンポーネントを用いて仕切り線を引きます。

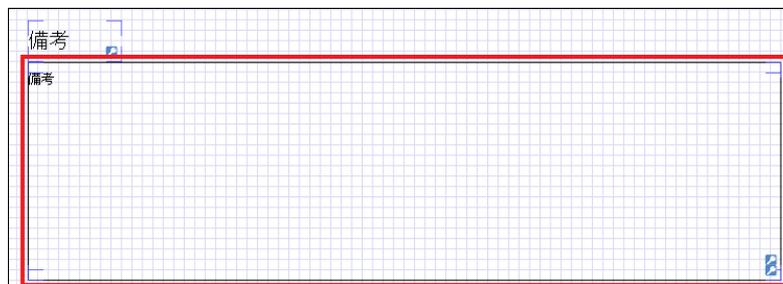


実際にレイアウトに配置するとこのようになります。

罫線



枠線



2. データセットテーブルを設置

DataSetTable コンポーネントを配置して、明細部分のレイアウトを作成します。



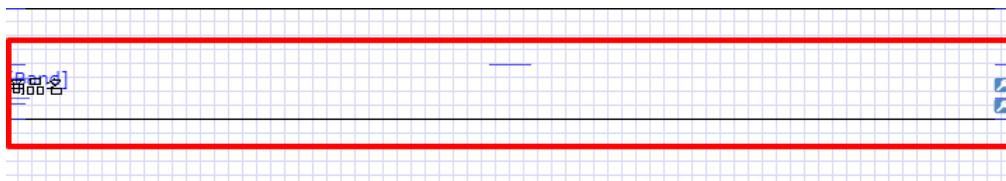
Dataset Table コンポーネントの中に、Band というコンポーネントがあります。



この中に配置されたコンポーネントは、明細オブジェクトレコードの数だけ繰り返し表示されます。

ここでは、商品名の動的項目ラベルと罫線を配置します。

※「動的」項目については、次のステップで説明します。

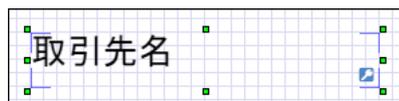


3. ラベルを配置、動的項目にチェック

文字列を表示したい部分には、Label コンポーネントを配置します。



実際にレイアウトに配置するとこのようになります。



ラベルの詳細内容は以下のように設定します。

※取引先名を表示するラベルを一例として取り上げているだけなので、配置したそれぞれのラベルコンポーネントに合わせて設定してください。



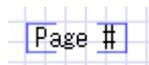
- **タイプ**
このラベルは取引先名の値を表示するので、「動的」に設定します。
固定文言の場合、「静的」を指定します。
- **アライン**
水平位置、垂直位置ともに、ラベルのどの位置に文字が表示されるのか指定します。
- **スタイル**
文字数が多くても全体が表示されるよう、「縮小して全体を表示」にチェックを入れます。
- **行間隔**
行の折り返しはしないので、0のままにしておきます。

4. ページ番号を挿入

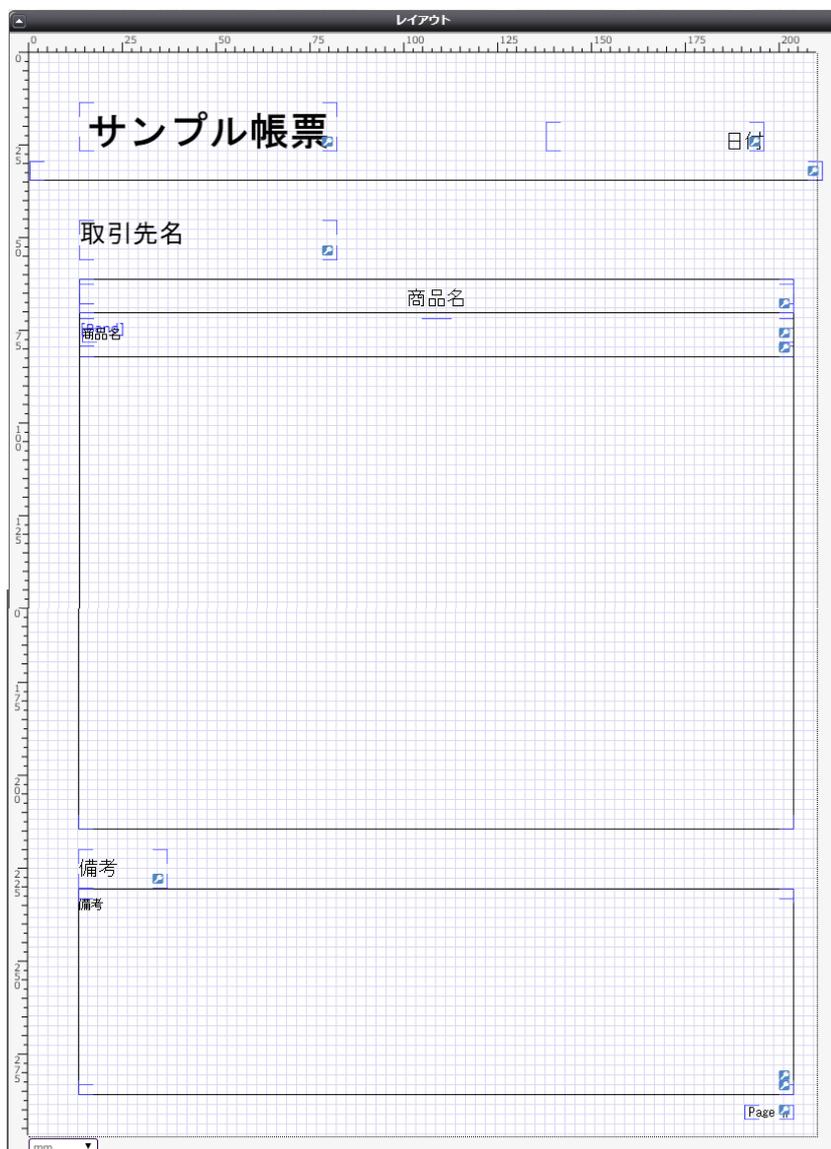
レイアウト右下にページ番号を配置します。



実際にレイアウトに配置するとこのようになります。



完成したレイアウトは以下です。



デザインが出来上がったら、保存ボタン(📁)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

3.4 その他のコンポーネント

ここでは、3.3 までに紹介したコンポーネントを含む全ての使用可能なコンポーネントについてリストアップして説明します。



番号	名称	機能
1	Line	レイアウトにラインを描画します。
2	Rectangle	レイアウトに正方形・長方形を描画します。
3	Circle	レイアウトに円・楕円を描画します。
4	Label	レイアウトにテキストを表示します。テキストは、静的に指定(コンポーネントに直接記述)するだけでなく、ドキュメント生成時に データソースの値を動的に適用することもできます。
5	Image	レイアウトに画像を挿入します。画像は、 ・お使いのブラウザよりアップロードされたもの ・外部サーバから URL で取得できるものを設定できます。
6	Barcode	レイアウトにバーコード画像を挿入します。Barcode の元となるデータは、静的に指定(コンポーネントに直接記述)するだけでなく、ドキュメント生成時にデータソースの値を動的に適用することもできます。
7	Page Number	レイアウトにページ番号を表示します。コンポーネント毎に、ページ番号の採番・表示ルールを設定することができます。
8	Total Page Number	レイアウトに総ページ数を表示します。ただし、OPR 形式での出力のみ有効なコンポーネントです。
9	Dataset Table	データソースのデータとリンクし、バンドを使用してレイアウトにテーブルを作成します。Dataset Table コンポーネントは、内部に Band コンポーネントを持ちます。
1 0	Horizontal Dataset Table	データによって明細行が右方向に伸びる点を除き Dataset Table コンポーネントと同じです。
1 1	Container	内部に複数 DatasetTable を配置可能なコンポーネントです。Container 内に二つの DatasetTable を配置して出力すると、最初の DatasetTable にテーブルの内容すべてを表示した後、二番目の DatasetTable にテーブルの内容を表示します。

Dataset Table 内に設定できるコンポーネント

名称	機能
Band	Dataset Table コンポーネントに繰り返し領域（明細行）を描画します。Dataset Table 配置時に内包されています。
Report Header	Dataset Table コンポーネントにレポートヘッダ領域を描画します。レポートヘッダは、繰り返し領域（明細行）の前に1度だけ描画されるヘッダです。
Report Footer	Report Footer コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにレポートフッタ領域を描画します。レポートフッタは、繰り返し領域（明細行）の後に1度だけ描画されるフッタです。
Column Header	Column Header コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにカラムヘッダを描画します。カラムヘッダは Dataset Table の明細行の直前に描画されるヘッダです。見出しの役割をします。
Group Header	Group Header コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにグループヘッダを描画します。グループヘッダは、Dataset Table のデータを任意項目でグループ化し、その際のヘッダを描画します。
Group Footer	Group Footer コンポーネントは、Dataset Table コンポーネントにグループフッタを描画します。グループフッタは、Dataset Table のデータを任意項目でグループ化し、その際のフッタを描画します。

4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに CSV データ項目をマッピングします。

1. 画面左上の「コンポーネントグループ」内、「ページ」と「DatasetTable1」の両方について、CSV 定義を追加します。



「ページ」にチェックを入れ、[CSV 定義を追加]をクリックします。



「DatasetTable1」についても同様にします。



2. それぞれのコンポーネントグループについて、CSVデータのフィールドを決定します。
[追加]ボタンでフィールドを追加します。

ページ

フィールド名	データタイプ	形式
Date	date	yyyy/MM/dd
AccountName	text	
Remarks	text	

Dataset Table1

フィールド名	データタイプ	形式
ProductName	text	

※「先頭行を無視する」のチェックを必ず外してください。外さないと、kintone のデータが正しく連携されません。

3. フィールドを追加したら、それぞれのフィールドについてテンプレートのどの動的項目と対応するかを決定します。
 設定したいフィールドの行をクリックして、画面左側の「CSV フィールド」から対応させたい項目を「データ」欄にドラッグ＆ドロップします。

表示の際のフォーマットを指定したい場合は、画面左側の「フォーマット」からお好みの項目をフィールド行の「フォーマット」欄にドラッグ＆ドロップします。ここでは、日付の表示を「yyyy/MM/dd(年四桁、月二桁、日二桁)」に指定しています。

ページ

コンポーネント	コンポーネントグループ	タイプ	スタイル	データ	フォーマット
Date	ページ	Label		Date	yyyy/MM/dd
Account	ページ	Label		AccountName	
Remarks	ページ	Label		Remarks	

Dataset Table1

コンポーネント	コンポーネントグループ	タイプ	スタイル	データ
ProductName	DatasetTable1	Label		ProductName

4. マッピングが終わったら、[保存]をクリックします。

CSV定義

1. ページ 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

2. DatasetTable1 向け CSV

フィールドを定義 マッピング

↑ ↓ 削除

リセット 保存

5. テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。

テンプレート配備ウィザード

テンプレートの配備

テンプレートは保存されましたが、帳票出力にはまだ反映されません。反映するには「配備」ボタンをクリックしてください。
配備ボタンのクリックで、「CID(弊社より発行されたOPROARTSの認証情報)」配下に [] テンプレートをコピーします。
配備することによって、下記のフォーム、ボタンから出力できるようになります。

ドキュメント生成フォーム

配備

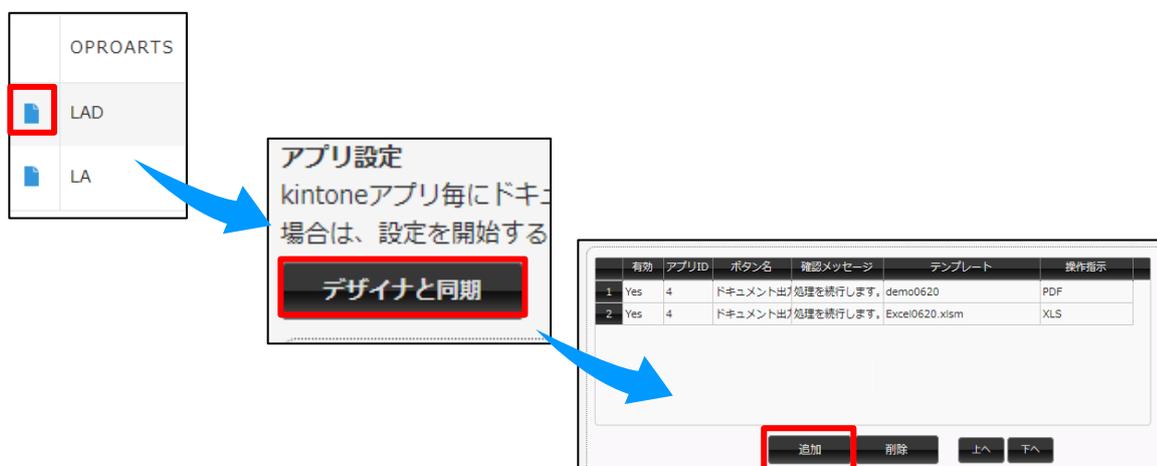
※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. ドキュメント出力設定

Live テンプレートに連携する CSV データと kintone アプリの項目の対応関係を指定します。

1. kintone のボタン設定を行います。

OPROARTS Connector for kintone アプリにアクセスし、LAD レコードを開き、[デザイナーと同期]ボタンをクリックしてから[追加]ボタンをクリックします。



2. 出力を行うアプリIDを入力し、ボタン名、確認メッセージ、操作指示、テンプレートを指定します。

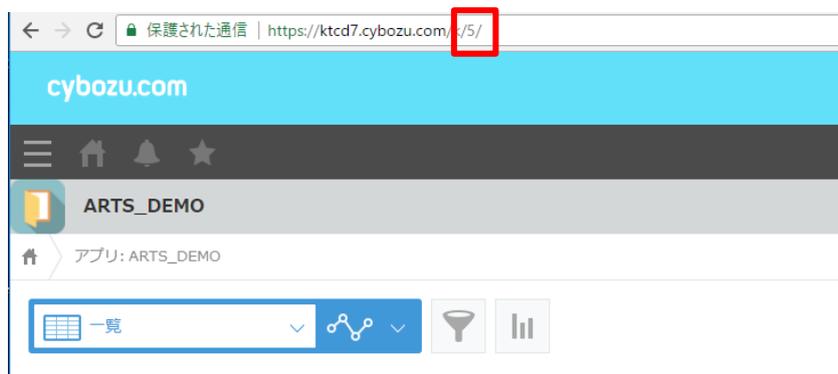


※使用したいテンプレートが選択リストに表示されない場合、下記をご確認ください。

- ・「デザイナーと同期」を行っていない
- ・テンプレートの配備を行っていない

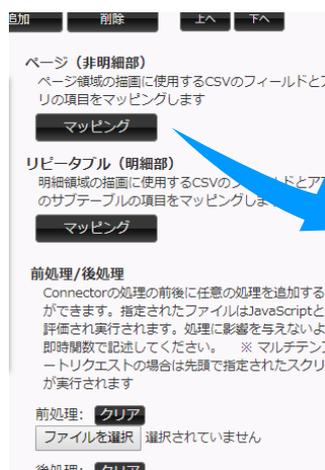
※アプリ ID は使用するアプリの URL の末尾に記載されています

この場合アプリ ID は「 5 」になります



3. テンプレートが間違いないことを確認し、非明細部のマッピングボタンをクリックします。CSV フィールドに対しアプリフィールドの何を結びつけるかという指定を行います。

※アプリフィールドにはアプリのフィールドコードが表示されています。



4. 明細部のマッピングも同様に、CSV フィールドとアプリフィールドの結びつけをおこないます。
明細部にはサブテーブルとして、「作成した任意のテーブル」が[関連レコード]を選ぶことができます。

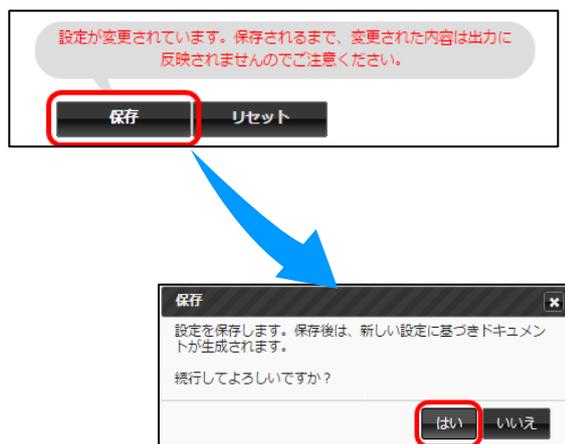
リピータブル (明細部)

サブテーブル Table 関連レコードを使う 設定

CSV Field	App Field
ProductName	Contents

自動マッピング

5. 指定が完了したら、保存ボタンをクリックします。



6. 出力ボタンの作成

kintone のレコード画面から帳票を出力するボタンを作成します。

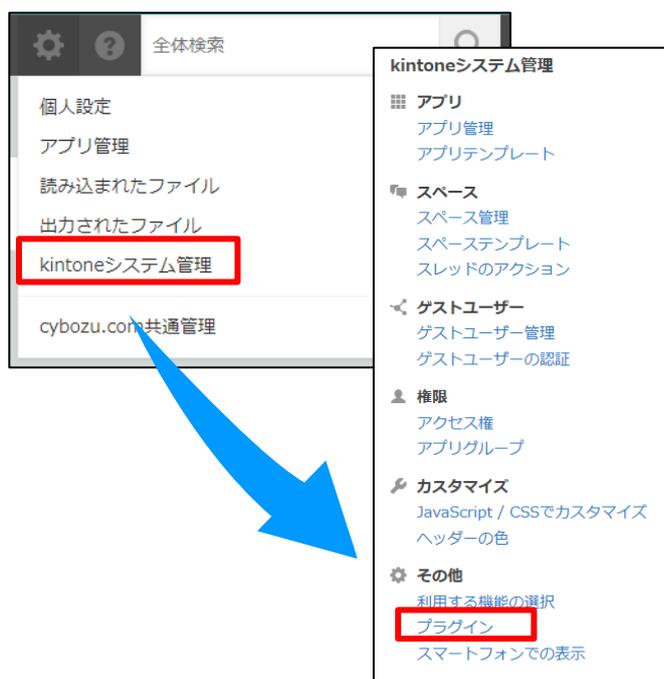
kintone のレコード画面から Connector for kintone で帳票出力をするためには、出力をリクエストするボタンを kintone 上に作成する必要があります。

レコードの詳細ページからそのレコードの情報を用いて帳票を出力する場合は [6.1 詳細ページから出力する場合](#)を、リストページから画面に表示されているレコード全てについて帳票を出力する場合は [6.2 リストページから出力する場合](#)をご覧ください。

6.1 詳細ページから出力する場合

1. まず、プラグインをアップロードします。

[kintone システム管理]からその他[プラグイン]画面を開きます。



2. [読み込む]ボタンで OPROARTS Connector for kintone のプラグインをアップロードします。
※プラグインは[こちらの FAQ ページ](#)から取得します。

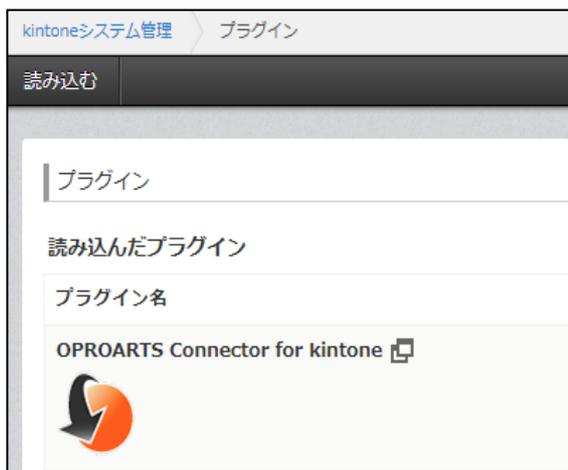


読み込むファイルは以下です。

Connector_for_kintone_plugin_ver.*****.zip

※ *はバージョン番号です

3. プラグインのアップロードができました。



4. 次に、プラグインの設定をします。

ボタンを設置したいアプリの設定画面を開き、[設定]からプラグインを選択します。

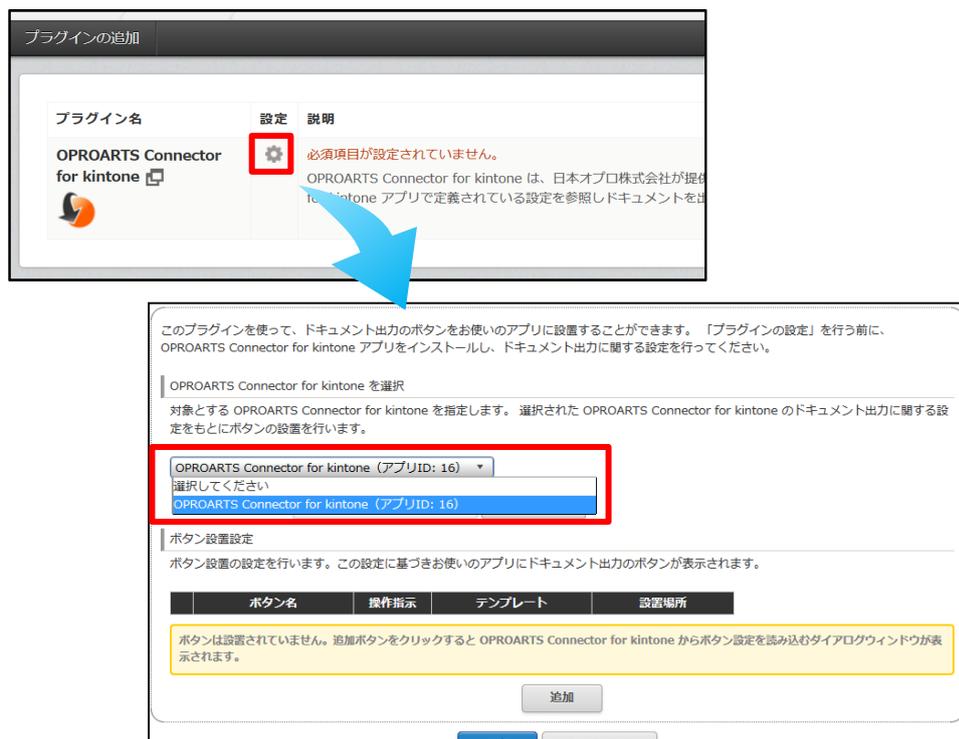


5. [プラグインを追加]をクリックすると、OPROARTS Connector for kintone のプラグインが表示されます。

チェックボックスにチェックをいれて、[追加]をします。



6. 次に[設定]をクリックし、「OPROARTS Connector for kintone を選択」から、対象とする OPROARTS Connector for kintone アプリ を指定します。



7. [追加]をクリックすると、ボタン設定を読み込むダイアログが表示されます。設定するボタンを選んで、[追加]します。



8. [ボタン設置設定]にボタン設定が読み込まれました。設置場所を指定します。今回は詳細ページを指定しました。
※詳細ページ、リストページ両方にボタンを設置する場合や複数の帳票のボタンを設置する場合は 8、9 の手順を繰り返してボタンを増やします。



9. 指定が完了したら、保存ボタンをクリックします。
次に「アプリの設定」から「アプリを更新」をクリックし、アプリの設定を完了します。



10. 保存が完了したら、作成したアプリの詳細ページにボタンが表示されます。
クリックすると、表示されているレコードの情報を使用し、指定したレイアウトの帳票が出力されます。



サンプル帳票		2019/06/03
サンプル取引先		
商品名		
製品1		
製品2		
製品3		
製品4		
製品5		
備考		
サンプルテキスト		
Page 1		

6.2 リストページから出力する場合

1. [6.1 詳細ページから出力する場合](#)の、1～7の設定を行います。
2. 「設置場所」にリストページを指定します。

ボタン設置設定

ボタン設置の設定を行います。この設定に基づきお使いのアプリにドキュメント出力のボタンが表示されます。

ボタン名	テンプレート	操作指示	設置場所	プレビュー
<input type="checkbox"/> ドキュメント出力 <input checked="" type="checkbox"/> ボタン名を置き換える PDFヘッダー-明細型	simple_quotation_for_manual_kn	PDF	リストページ	<input type="checkbox"/> プレビュー表示

3. 指定が完了したら、保存ボタンをクリックします。
次に「アプリの設定」から「アプリを更新」をクリックし、アプリの設定を完了します。



4. 保存が完了したら、作成したアプリのリストページにボタンが表示されます。
クリックすると、一覧に表示されているレコードの情報を使用し、指定したレイアウトの帳票が出力されます。

発行日	顧客名	見積番号	有効期限	見積担当者
2019-08-29	Sample Inc.	Q-000002		Estimate Staff
2019-08-30	サンプル顧客	Q-000001		サンプル見積担当

各レコードについて生成された帳票は結合され、1つのPDFとして出力されます。

7. OPROARTS Connector のアンインストール

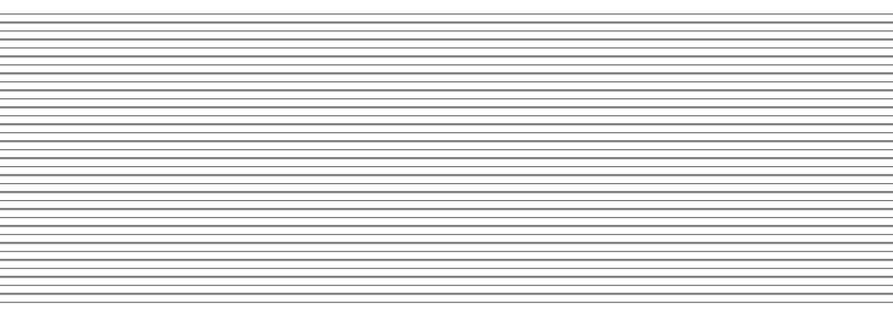
OPROARTS Connector のアンインストール方法を説明します。

1. ホーム>設定(⚙️)> [アプリ管理]をクリックします。



2. アプリ管理画面で削除ボタン(🗑️)をクリックして、出てきたポップアップ画面で[削除]をクリックします。

ID	アプリ名	設定	アプリグループ	ステータス	レコード数	フィールド数	1日のAPIリクエスト数	カスタマイズ	最終更新者	最終更新日時	
6	見積	⚙️	Public	運用中	1	6	0	あり		2019-04-24 17:59	🗑️
4	ViewFramer Connector for kintone-20161024	⚙️	Public	運用中	1	6	0	あり		2019-04-24 13:11	🗑️
7	見積商品	⚙️	Public	運用中	10	5	0	なし		2019-04-24 11:29	🗑️
5	ARTS_DEMO	⚙️	Public	運用中	0	12	0	なし		2019-04-24 10:38	🗑️
2	OPROARTS Connector for kintone	⚙️	Public	運用中	0	9	0	あり		2019-04-24 10:32	🗑️



OPROARTS Connector
for kintone
ユーザーガイド
(PDF/ヘッダー明細)



発行元 株式会社オプロ